

平成30年度国立大学法人琉球大学入札監視委員会定例会議議事概要

開催日時及び場所	平成30年11月30日(金) 10:00～ 琉球大学本部棟3階 第二会議室	
委員	委員長 仲地 健(沖縄国際大学産業情報学部 教授) 委員 鈴木 啓子(鈴木啓子税理士事務所) 委員 田里 友治(田里会計士事務所)	
審議対象期間	平成29年10月1日～平成30年9月30日	
抽出案件(合計)	5 件	(備考) 国立大学法人琉球大学入札監視委員会設置要項にのっとり、互選により仲地委員が委員長に選出された。  抽出案件の個別審議については、【審議資料】に基づき、各発注担当課長から工事等概要説明を行い、施設総務係長より契約手続概要説明を行い、質問等に回答をした。
工事(小計)	3 件	
一般競争入札 (政府調達に関する協定対象工事)	0 件	
一般競争入札 (上記工事を除く)	3 件	
工事希望型競争入札	0 件	
通常指名競争入札	0 件	
随意契約	0 件	
設計・コンサルティング業務	2 件	
委員からの意見・質問、 それに対する回答等	意見・質問	回答
	別紙のとおり	別紙のとおり
委員会による意見の具申 又は勧告の内容	なし	

質問	回答
<p><b>1. 建設工事に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>2. 設計・コンサルティング業務に関する入札・契約手続の運用状況等の報告について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>3. 指名停止等の措置状況について【報告事項】</b> (事務局より説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・特になし</li> </ul> <p><b>4. 建設工事における抽出案件の審議</b></p> <p><b>【(千原)法文学部校舎棟等給水設備改修工事】</b> (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつかの工事をまとめた理由は。</li> <li>・まとめた結果、1者になったのか。</li> <li>・落札率が低いが入札価格調査は実施しなかったのか。</li> <li>・落札者は今年度他工事も積極的に参加、複数件受注していますね。</li> <li>・談合ではないのではないのか。</li> <li>・業者同士で不穏な動きあるのか。</li> <li>・総合評価表に工事成績の項目が0点とあるが、これは実績がないということか。</li> <li>・65点未満が落第点ということか。</li> <li>・実績がない場合でも落第点ではないということか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同種の給排水関連工事をまとめました。</li> <li>・給排水設備工事は利益率が低く、最近では技術者不足の影響もあり契約が困難になっています。参加業者をより多く確保するため、スケールメリット、技術者不足を勘案して公告しましたが、結果、1者の応募しかありませんでした。</li> <li>・低入札価格調査は本学の会計実施規程により1,000万円以上を対象としており、本件は対象としませんでした。</li> <li>・これまでの受注実績により、大学内の設備や運用及び対応等を熟知しており、工事が円滑に進められると判断しているからかもしれません。</li> <li>・談合ではないと思います。業者は他の機関を受注するより、慣れている機関を受注する傾向があると思います。</li> <li>・全くそのような動きを感じたことはありません。実際、業者同士で話し合いをした場合は低入札にはならないと考えています。</li> <li>・評価基準に記載のとおり、工事成績の実績平均が72点未満は評価点は0点となります。</li> <li>・そのとおりです。</li> <li>・そのとおりです。</li> </ul>

質問	回答
<p>【(千原)文系学部棟他照明設備改修工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・電子入札と紙入札の業者がいるが、電子入札が基本なのか。</li> <li>・低入札価格調査を実施して、問題がなかったということか。</li> <li>・この落札者はよく入札に参加するのか。</li> <li>・入札金額で1位と6、7位の業者の金額が倍近くになっているのは、参加はするがやる気がないということか。</li> <li>・参加するだけでも意味はあるのか。</li> <li>・資材の調達価格に業者によってばらつきがあるということか。</li> <li>・LDEを寿命で交換するときは、この業者をお願いするのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・そのとおりです。本来、電子入札で参加しますが、電子入札システムの不具合等な場合は、紙入札を認めています。</li> <li>・そのとおりです。本件は照明機器の更新工事のみだったので、機器メーカーから大量に安価に調達できるという理由と、受注会社の経営的な事項も保証会社にヒアリングを行って問題がなかったため契約に至りました。</li> <li>・記憶する限りでは、今年から参加しています。</li> <li>・業者の受注意欲と金額は大きく関係します。また業者の手持ち工事などの状況にもよります。</li> <li>・予定価格と比較すると、それほど意欲はないとは感じられません。</li> <li>・積算などで時間も使うので、業者の負担は大きいと思います。</li> <li>・今回は参加業者が多かったが、もし1者しか応札がいなかった場合は、6位の業者はもう少し金額を下げると落札することができます。</li> <li>・業者によって安く仕入れる調達ルートを持っていると思います。</li> <li>・また別工事として入札公告を行います。</li> </ul>
<p>【(千原)学生寄宿舍新混住棟新営その他工事】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計・施工一括発注方式はよくあるのか。</li> <li>・2者辞退した理由は。</li> <li>・設計・施工一括発注方式のメリットは？現在進行中の過程でも従来と比べてスムーズに進んでいるのか。</li> <li>・今後も設計・施工一括発注方式を続けていくのか。</li> <li>・スムーズに進むと言うのが設計・施工一括発注方式のメリットだが、デメリットはあるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回初めて実施します。通常は設計事務所に設計をお願いをして、その後、設計図面を基に工事を発注をしますが、時期的に長くなりません。この方式は設計者と施工者が協議することによって得意分野を反映できます。施工者も決まっているので、下請け業者も早めに確保出来ます。</li> <li>・この工事財源は民間銀行の借入金であり、かつ学生寄宿舍の使用開始が再来年の4月を予定しています。設計と施工を分けて発注し、もし工事の下請け業者がいなくて工期が遅れると、借入金返済に支障がでます。</li> <li>・1者は技術者を配置できない、他者は技術者を配置できるか不安だったという事でした。</li> <li>・工期が短くなります。現段階では設計中ですが、下請け業者も既に決めていると思われるので施工の段階でスムーズに進むと思います。</li> <li>・国の補助金等による整備は制約があつて難しいです。今回の財源は借入金だったので設計・施工一括発注方式を実施しました。</li> <li>・国立大学法人の仕組みとして、民間借入ができるのは収入がある施設に限定されているので、無限に広がるものではないです。</li> <li>・金額の高止まりの懸念があります。今回は学生寄宿舍で約10平米の個室を約100室つくるという、比較的簡単な工事でしたが、例えば研究棟の工事だと、研究内容によって実験室が違う設計になり複雑になるので、この方式は難しいと思います。</li> </ul>

質問	回答
<p>【医学部及び同附属病院移転整備基本設計業務】 (事務局より概要説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・見積合せの手順は？</li> <li>・予定価格以下になるまで続けるのか。</li> <li>・1回目から2回目の入札金額の下落幅が大きいのに比べ、2回目と3回目の下落幅が小さいのはなぜか。</li> <li>・対面で行っているときに、こちらから何か働きかけがあったのか。</li> <li>・落札率は業者に伝えるのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業者が来学し、対面で行いました。</li> <li>・そのとおりです。</li> <li>・2回目の金額が本音だと思います。これ以上金額を落とせないで、下落幅が小さかったと思います。</li> <li>・それはありません。予定価格に達してない旨を伝え、再度、見積合せを事務的に進めます。</li> <li>・契約後公表しています。</li> </ul>
<p>【(西普天間)移転用地地盤調査業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・紙入札の理由は</li> <li>・2者低入札だが、2者ともヒアリングをを行ったのか。</li> <li>・最低価格の業者に問題があれば、次の業者に調査を行うのか。</li> <li>・問題があるとは例えばどのようなものか。</li> <li>・不発弾調査を今からやるのか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パソコンの不具合で紙入札となりました。</li> <li>・まず先に最低価格の業者に低入札価格調査を行い、問題がなかったので契約に至りました。次点の業者とは調査は行っていません。</li> <li>・そのとおりです。</li> <li>・経営的な事や積算ミスなどがあります。その場合は指名停止措置になります。</li> <li>・既に防衛局が実施しています。</li> </ul>